

キーエンスの高収益を支えるデータ人材育成、 試行錯誤の歴史

講師

柘植 朋紘

株式会社キーエンス
データアナリティクス事業グループ マネージャ



新卒でキーエンスに入社後、コンサルティングセールス・人事採用を経て、データをフル活用したマーケティング・営業推進・販促活動に10年以上、従事。現在は、キーエンスの高収益の源泉である「データ活用ノウハウ」を基にした『データ活用支援事業 KI』を、新規事業として幅広く展開中。各種イベントなどでの講演多数。

キーエンスの社名の由来は、Key of Science。営業利益率50%を超える高収益は、科学的で合理的なデータ活用が支えています。特に大切にしているのは、ドメイン知識を持ったビジネス部門が中心となり、日常的にデータを分析・活用し、ビジネスを主体的に動かしていく組織づくりです。しかし、過去20年にわたる試行錯誤の歴史は、決して順風満帆なものではありませんでした。「データ活用」をどのように組織に浸透させていったか？ぶつかった壁は何か？どう乗り越えたか？最も重視してきた「データ人材育成」に重要なことは何か？などを、当時のエピソードを交えながら、生々しい体験をご紹介します。

日時

2022. 12. 7 (水) 18:00~19:00

会場

オンライン (Zoom)

※オンラインセミナーは、どなたでもご参加いただけます。

定員

450名

申し込み

以下の申し込みフォームから12月2日(金)までにお申し込みください。
(開催までに参加URLをお送りします)

<https://forms.gle/qKNCppeooaEf7B4f9>



未来型医療創造卓越大学院プログラム

共催：東北大学病院臨床研究推進センターバイオデザイン部門
医工連携イノベーション推進事業